

2020年度とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会公開セミナー開催要綱

○ 趣 旨

2020年が明け、突然、コロナパンデミックが到来した。2020年12月1日現在世界の感染者数は、6,329万人を超え、死者も147万人を超えた。我が国も、それぞれ14万人、2千人を超えている。先行き不透明な中、社会経済をはじめ社会システム全般の見直しが問われている。とりわけ命と暮らしを支える医療・介護システムの崩壊が進行し、クライアントと医療福祉専門職に何が起きているのか、その渦中にある医療福祉専門職からの発信が問われている。医療福祉専門職は、何を為すべきか、関係者、関係機関はどのような環境条件を整備すべきなのか現場から検証する。

- 1 日 時 2021年1月31日(日) 13:00~17:00
- 2 会 場 とちぎ福祉プラザ多目的ホール
- 3 参加方法 ①とちぎ福祉プラザでの会場参加、②ズームによるリモート参加
- 4 参加費 会員：1,000円、会員外：2,000円、リモート参加：一律1,000円
- 5 申込先 とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会
〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ3階
Tel : 028-600-1725 Fax : 028-600-1730
E-mail tacsw@minos.ocn.ne.jp

6 プログラム

(1) 13:00 開会あいさつ

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会代表	大友 崇義
栃木県保健福祉部長	海老名英治氏
栃木県社会福祉協議会常務理事	小林 敦雄氏
栃木県社会福祉法人経営者協議会長	直井 修一氏

(2) 13:20 基調講演(当日講師は、リモート参加)

「コロナ感染症と医療・福祉専門職」

新型コロナウイルスとは何か、世界の研究動向を踏まえて、その対応策はどうあるべきか、医療福祉専門職は何を為すべきか、また関係機関は何を為すべきかを展望する。



講 師 松 本 哲 哉 国際医療福祉大学主任教授
国際臨床感染症センター 感染制御部部长

長崎大学医学部卒。長崎大学第二内科入局。東邦大学医学部微生物学講座講師、米国ハーバード大学へ留学、東京医科大学微生物学分野主任教授、日本環境感染症学会理事、日本臨床微生物学会副理事長、日本感染症学会評議員、日本化学療法学会理事長、PMDA 専門委員。

(3) 15:00 パネルディスカッション

「新型コロナウイルス感染症は、クライアントと医療福祉専門職にどのような影響を与えているか？」

新型コロナウイルス感染症は、クライアントと社会福祉専門職にどのような影響を与えているか、その課題を克服するため社会福祉専門職は何をなすべきかを討議する。

○ コーディネーター

小林 雅彦 国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科長



日本社会事業大学大学院卒業後、川崎市社会福祉協議会、全国社会福祉協議会、厚生労働省社会援護局地域福祉課社会福祉専門官を経て、国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科長。専門は、地域福祉論、社会福祉運営管理論。

○ アドバイザー 栃木県保健福祉部

栃木県社会福祉法人経営者協議会

○ パネリスト 篠崎 文男 サポートセンターリバティ代表

(栃木県社会福祉士会副会長)

岩原 真 社会福祉法人大恵会養護老人ホーム晃明荘施設長

(栃木県介護福祉士会会長)

小宅 史晃 サクラケアラー矢板管理者

(栃木県ホームヘルパー協議会会員)

調整中

(栃木県医療社会事業協会)

稲見 聡 医療法人報徳会宇都宮病院総合支援課長

(栃木県精神保健福祉士会会長)

(4) 16:30 グループリフレクション

○ コーディネーター 鳶末 憲子 埼玉県立大学准教授

(5) 17:00 閉会

7 後援 栃木県/栃木県社会福祉協議会/栃木県共同募金会/栃木県市長会/栃木県町村会/栃木県医師会/栃木県看護協会/栃木県老人福祉施設協議会/栃木県老人保健施設協会/栃木県社会福祉法人経営者協議会/栃木県障害施設・事業協会/栃木県精神衛生協会/とちぎケアマネジャー協会/下野新聞社/朝日新聞宇都宮総局/読売新聞宇都宮支局/産経新聞社宇都宮支局/毎日新聞宇都宮支局/栃木放送/エフエムとちぎ/とちぎテレビ(後援依頼中)

8 その他 「新型コロナウイルス感染症に対応した公開セミナー開催ガイドライン」に基づき、感染症対策には万全を期します。